

## 表－２ 「土質区分判定のための調査試験方法」

| 判定指標*1)    | 試験方法            | 規格番号・基準番号  |
|------------|-----------------|------------|
| コーン指数*2)   | 締固めた土のコーン指数試験方法 | JIS A 1228 |
| 土質材料の工学的分類 | 地盤材料の工学的分類方法    | JGS 0051   |
| 自然含水比      | 土の含水比試験方法       | JIS A 1203 |
| 土の粒度       | 土の粒度試験方法        | JIS A 1204 |
| 液性限界・塑性限界  | 土の液性限界・塑性限界試験方法 | JIS A 1205 |

\*1) 改良土の場合は、コーン指数のみを測定する。

\*2) 1層ごとの突固め回数は、25回とする。(参考表参照)

### 参考表 「コーン指数 (qc) の測定方法」

\* 「締固めた土のコーン指数試験方法 (JIS A 1228)」(地盤工学会編「土質試験の方法と解説 第一回改訂版」pp.266-268) をもとに作成

|        |             |                                                                  |
|--------|-------------|------------------------------------------------------------------|
| 供試体の作成 | 試料          | 4.75 mmふるいを通じたもの。<br>ただし、改良土の場合は 9.5 mmふるいを通させたものとする。            |
|        | モールド        | 内径 100±0.4 mm<br>容量 1,000±12cm <sup>3</sup>                      |
|        | ランマー        | 質量 2.5±0.01kg                                                    |
|        | 突固め         | 3層に分けて突き固める。各層ごとに 30±0.15 cmの高さから 25回突き固める。                      |
| 測定     | コーンペネトロメーター | 底面の断面積 3.24cm <sup>2</sup> 、先端角度 30度のもの                          |
|        | 貫入速度        | 1 cm/s                                                           |
|        | 方法          | モールドをつけたまま、鉛直にコーンの先端を供試体上端部から 5 cm、7.5 cm、10 cm 貫入した時の貫入抵抗力を求める。 |
| 計算     | 貫入抵抗力       | 貫入量 5 cm、7.5 cm、10 cm に対する貫入抵抗力を平均して、平均貫入抵抗力を求める。                |
|        | コーン指数 (qc)  | 平均貫入抵抗力をコーン先端の断面積 3.24cm <sup>2</sup> で除する。                      |

注) ただし、ランマーによる突固めが困難な場合は、泥土と判定する。